

## 平成30年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	設計製図4 (Atelier Practice of Design and Drawing 4) 【インテリアデザインクラス】		授業コード	L030952
担当教員名	近藤 正一、菅 雅幸		科目ナンバリングコード	L30309
配当学年	3	開講期	後期	
必修・選択区分	コース選択必修 建築コース インテリアデザインコース 建築設計コース 住居・インテリアコース 選択 環境・地域コース 建築工学コース 環境地域(まち)コース 環境地域(社会)コース	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	毎回、エスキスチェックをします。提出期限は厳守してください。			
受講心得	これまでに修めてきた建築学に関わるすべての知識と技術、これまでの人生において育んできた教養とセンス、そしてインテリアデザインに対する自らの思いと情熱を作品として結晶させる、総合的な演習科目です。全力で取り組んでください。			
教科書	指定しません。			
参考文献及び指定図書	コンパクト建築設計資料集成(丸善)日本建築学会編 その他、適宜、紹介します。			
関連科目	スペースデザイン、建築計画1、建築計画2、設計製図1、設計製図2、設計製図3 など			

授業の目的	<p>インテリアデザインは、空間全体のデザイン(スペース系)と空間を構成する要素のデザイン(プロダクト系)とに大別されます。前者の場合は、自分より大きなものが対象となる場合が多く、構造や外部との関係性を理解しつつ内部を中心にデザインします。一方、後者の場合は、自分より小さなものが対象となる場合が多く、使い勝手や内部の構造を理解しつつ外観を中心にデザインします。</p> <p>この授業では、それぞれの分野において1課題ずつ、合計2課題について取り組むことにより、インテリアデザインにとって欠くことのできない視座について相互に関連させつつ学ぶとともに、毎回のエスキスチェックにより高度なプレゼンテーション技術を育成することを目的とします。</p>
授業の概要	<p>授業の目的に従って、以下の2課題について取り組みます。</p> <p>〈第一課題〉空間デザインに関する課題 架空の企業を想定し、店舗空間を設計します。与条件からクライアントが何を要求しているのかを理解し、自分の個性を出しながらもクライアントの納得のいくデザインを提案します。A1サイズに要求図面・説明図・模型写真やCG・文章等を美しくレイアウトし、作品発表・講評会を実施します。</p> <p>〈第二課題〉インテリアエレメントに関する課題 第一課題の店舗の中に設置する照明、什器など、空間を構成する要素を企画・デザインし、コンピューターグラフィックスや模型等により立体表現します。A1サイズに要求図面・説明図・模型写真やCG・文章等を第一課題よりさらに美しくレイアウトし、作品発表・講評会を実施します。</p>

<b>○授業計画</b>	
学修内容	学修課題(予習・復習)
<b>第1週：店舗空間の設計1</b> 第一課題(店舗空間の設計)の説明を行います。課題の目的、場所、設計内容、提出図面およびスケジュールについて説明します。また、課題の参考になる実例を紹介します。	<b>店舗空間の設計について</b> <b>配付資料</b> <b>演習課題・エスキスの制作</b>
<b>第2週：店舗空間の設計2</b>	<b>店舗空間の設計について</b>

講師がこれまでに取り組んできた仕事の紹介やデザインの考え方についてお話しします。	配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第3週：店舗空間の設計3</b> 与条件からクライアントの意図を読み取り、適切な提案のためのコンセプトの設定をし、自分の設定したコンセプトに近い実例や商品のリサーチを行います。	店舗空間の設計について 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第4週：店舗空間の設計4</b> 簡単なスケッチを通して、プランニングを始めます。大まかなゾーニングから徐々に細かいプランニングに移行していきます。数パターンの配置計画を考えて、自分のコンセプトに合う計画を選んでください。	店舗空間の設計について 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第5週：店舗空間の設計5</b> 中間発表のための図面やスタディー模型を提出します。コンセプトや自分の考えをわかりやすく伝えるためのダイアグラム図や文章の原稿をまとめてください。デザインの完成度とクライアントに対するそのデザインの説得力が要求されます。コンピューターグラフィックスや模型等により立体表現された作品をJPEGにて提出してください。	店舗空間の設計について 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第6週：店舗空間の設計6</b> 店舗のプランニングを決定し、断面図をおこしてスタディー模型を作ってください。スタディー模型のなかで分かったことをプランニングに反映し、徐々に細部を詰めていきます。	店舗空間の設計について 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第7週：店舗空間の設計7</b> 図面、模型の提出により、発表をおこないます。各自の模型と図面を提示し、講評会が行われます。講評会は、作品制作者自身から作品の説明、質疑応答が行われます。それぞれ個別にコメントを受けます。	店舗空間の設計について 講評結果を各自で振り返ってください。
<b>第8週：インテリア要素のデザイン1</b> 展開図、三面図から素材、カラー、ロゴデザイン、ファサードデザイン等、空間の全体的な性格を決定していきます。展開図に着色したり、スケッチをしながら、デザインを決めていきます。	プロダクトデザインについて 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第9週：インテリア要素のデザイン2</b> 第二課題(インテリア要素のデザイン)に関する説明をします。第一課題の店舗のなかにポイントとなるディスプレイシステム、照明、レジカウンターについて検討します。デザインによってはすでに完成している店舗の設計の変更も認められます。	プロダクトデザインについて 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第10週：インテリア要素のデザイン3</b> 素材、支え方、照明方法、商品の見せ方などそのインテリア要素の核となる部分についての検討を行います。	プロダクトデザインについて 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第11週：インテリア要素のデザイン4</b> 三面図、断面図を描きながら、部材のサイズや寸法の設定を行います。	プロダクトデザインについて 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第12週：インテリア要素のデザイン5</b> 店舗の中に実際に置いてみて、空間とインテリア要素の整合性をはかりながら調整していきます。	プロダクトデザインについて 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第13週：インテリア要素のデザイン6</b> 図面のプレゼンテーションや模型、CGIに関する指導を行います。わかりやすくクライアントに伝えるためにダイアグラム図や文章等を入れてください。また、自分の考えをもう一度まとめてみて、全体のストーリーとして整合性がとれるように調整してください。	プロダクトデザインについて 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第14週：インテリア要素のデザイン7</b> 必要な図面・文章等がA1サイズにレイアウトされた作品を、JPEG形式で提出します。	プロダクトデザインについて 配付資料 演習課題・エスキスの制作
<b>第15週：講評会</b>	プロダクトデザインについて

各自の模型と図面を提示し、講評会が行われます。講評会では、自分が選択したインテリアエレメントのデザインについて説明と質疑応答が行われます。個別にコメントを受けたい場合は、講評結果を各自で振り返ってください。

授業の運営方法	(1) 授業の形式	「演習等形式」
	(2) 複数担当の場合の方式	
	(3) アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	カテゴリー I :ステークホルダーとの協働による課題解決型学修科目	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標

【関心・意欲・態度】	①インテリアデザインに対する総合的な能力の向上(毎回のエスキスへの取り組み)がみられる。
【知識・理解】	②情報収集および設計条件を読み解く力の向上(文献および実地調査など)がみられる。
【技能・表現・コミュニケーション】	③デザイン技術の向上(寸法・材料に対する知識、CAD・模型など)がみられる。 ④プレゼンテーション能力の向上(発表の説得力、講評に対する応答)がみられる。
【思考・判断・創造】	⑤企画力・計画力の向上(問題意識、コンセプトとプランニングの整合性)がみられる。

○成績評価基準(合計100点)

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等(テスト)	レポート・作品等(提出物)	発表・その他(無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			10点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。		20点		
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		25点	25点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		20点		

(「人間力」について)

※以上の観念に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安

成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等(提出物)	原則として毎回、講義の最後に授業内容について課題を出します。提出をもって出席に代えますので、課題が課されたら、かならず提出してください。達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。

<b>発表・その他 (無形成果)</b>	<p>インテリアデザインにおいて、プレゼンテーションおよびコミュニケーションの能力は重要です。達成水準の目安は以下の通りです。</p> <p>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。 [Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。 [Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。 [Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。</p>
--------------------------	--